

## 4月の紹介

2021年4月1日

読者の皆さん

ようやく、北半球のほとんどの春の季節がやって来ました。太陽の暖かい日差しに誘われ、自然は開花しています。冬の期間に眠っていたものすべてが、再び目を覚ましています。風景は、万華鏡のような色彩の変化を発揮し始めています。今月初旬の4月4日には、私の周り中で目にする生まれ変わりの新しい生命と調和して、イースター(復活祭)の祝祭日が訪れます。

ここ数カ月間、私は、米国の南西部、アリゾナ州のソノラ砂漠に住んでいます。世界のこの片隅では、野生の花が顔を出してきています。メキシコからサボテンフクロウが飛来し、ここに夏のすみかを作っています。サバクゴファーガメたちは地中の巣穴から出て来ました。チョウの活動も戻って来ています。豆の木は食用の実を付け始めています。ベンケイチュウ(大きな柱サボテン)は、その大きな白い花を開く準備をしています。そして、間もなくハジロバトたちも戻って来ます。

南半球の一部では、夏の暑さは涼しい日々に道を譲ります。昼は短くなり、同時に夜が長くなっていきます。落葉樹はその葉を散らしていきます。自然は冬が近づくにつれ、休止し、内側に向かうために、落ち着いて準備をしているのです。

周りを見渡す時、私を最も驚かせることは自然の回復力であり、そして冬の寒さや真夏の焼けつくような猛暑、厳しい干ばつとそれに続く土砂降りの雨の期間、それらに順応する能力です。

自然はその無数の形の中で、拡大し、収縮します。決して静止することはありません。常に自分自身を再生させ、新しい命を迎え入れるのです。

サーダナーにも、それと似たようなダイナミックな過程があります。私たちは熱望を新たにし、意図を明確にし、シッダ・ヨーガの修行をするための努力を強化することで、人生を、活力と強さとインスピレーションでみなぎらせるのです。サーダナーにおける自己努力を、常に評価し、調整し、倍増することで、尊厳と奉仕の人生をより良く生きることができるといことは、私が直接体験し続けてきたことです。

今年の初めに、私は自分自身の修行を再活性化する決意をしました。毎月、私はシッダ・ヨーガの道のウェブサイトに掲載される賛歌を学ぶことにしました。すべての賛歌は神との熱烈な会話であり、恍惚(こうこつ)と感謝に満たされた人生を生きた人々によって作られたものです。

先月、4月のシュリー・ハヌマーンの誕生日に備えて、私は「シュリー・ハヌマーン・チャーリーサー」を学び、練習することを選びました。毎朝、何度もこの賛歌を歌い、そうしているうちに、その安定して美しい音色が私の心をつかみました。私は自分の強さの中に和らぎ、より確固として、より深く呼吸をしていると感じました。私はまた、ハヌマーンのラーマ神に対する揺るぎない献身の心の物語についてよく理解するために、ヴァールミーキの『ラーマヤナ』の素晴らしい抄訳を読みました。強力なサル(猿)の戦士であるハヌマーンは、風の息子です。彼は、行く所はどこでも正義とダルマを復活させる自然の神聖な力です。その物語のある場面で、ハヌマーンは神に仕えて、大陸を跳び越え、一つの山を丸ごと肩に担いで運んでいます。

毎日、窓の外を見ると、私はサンタカタリナ山脈と対面します。それは空に向かってそびえ、何キロにもわたって景観を支配している数々の一枚岩です。そのそびえ立つ山々には思わず息をのみます。時折、太陽がその上に金やピンクの色合いを投じます。またある時には、山々

は鋭く不吉に見えます。その面前にいと、私は地球、そしてすべての生き物とのつながりを感じます。

今日、その山脈を見ながらシュリー・ハヌマーンについて熟考していると、彼に山脈を運ぶ力を与えたのは何かが分かる気がします。それは、ハヌマーンの身体のすべての細胞にその神聖な名前が響き渡っているラーマ神への愛なのです。その思いと共に、私は目を閉じて、私の敬愛するグルであるシュリー・グルマーイの恩恵を通して私の中で目覚めた愛に向かって、内側へと注意を向けます。

\*\*\*

以下は、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトで特集される今月の主な祝祭日とイベントです。

## 4月の祝祭日とイベント

### グディー・パードゥワー:4月 12 日(インドでは4月 13 日)

グディー・パードゥワーは、マハーラーシュトラ州だけでなく、カルナータカ州、アーンドラ・プラデーシュ州、マニプール州といったインドの他の地域でも元日として祝われています。(他の地域ではウガーディ、ユガディ、チェーティ・チャンドゥなどという別の呼び方をされています)。グディー・パードゥワーで人々は、14 年間の亡命からの待望の帰国後にアヨーダヤの王となったラーマ神の即位を祝うために、グディー、すなわち色鮮やかに飾られた旗を掲げます。グディー・パードゥワーは、1年の中で最も吉兆な3日半のうちの1日ともされています。

### 2021 年のアースデー:4月 22 日

アースデーは 51 年前の 1970 年に制定され、今日では毎年 10 億人以上の人々がアースデーの活動に参加しており、世界最大の市民の行事となっています。この重要なイベントは、

私たちを支えている自然界の素晴らしさについて、立ち止まってよく考え、神の創造物の幸福を守るという私たちの役割を果たすための機会です。

ハヌマーン・ジャヤンティ:4月26日(インドでは4月27日)

この祝祭日は、不死身で献身的なラーマ神の召使い、シュリー・ハヌマーンの誕生を祝います。シッダ・ヨーガの道のウェブサイトでは、この祝祭日の説明や、シュリー・ハヌマーンについての画像と物語のコレクションを見つけることができます。シュリー・ハヌマーンの揺るぎない献身は、彼を勇気、英知、そして強さを体現した無敵の戦士としました。「シュリー・ハヌマーン・チャーリーサー」は、私が学んできた詩聖トウルシーダースによる心から愛され崇敬されている賛歌で、伝統的にこの日に朗唱されます。詩節の一つで、トウルシーダースは、強力な英雄ハヌマーンを思い出し、呼び起こす時、すべての困難が終わり、すべての悲しみが取り除かれると宣言しています。

\*\*\*

今月のあなたへの私の願いは、自然界に神が現れる奇跡的な方法を体験することです。自然が絶え間なく自らを再生し、活性化するのと同じように、あなたが自分自身のサーダナーに活力と喜びを吹き込みますように。

心を込めて

メーナキ・クラーク

